

2021 年 6 月 22 日
読売テレビ放送株式会社

報道関係各位

読売テレビは、チームラボを代表とする有限責任事業組合設立に参加 京都駅東南部エリアに複合文化施設を開業へ ～ 京都市と基本協定書を締結 ～

読売テレビ放送株式会社（本社：大阪市中央区、代表取締役社長：大橋善光）は、アート集団のチームラボ（本社：東京都千代田区、代表取締役：猪子寿之）を代表として設立する「京都駅東南部エリアプロジェクト有限責任事業組合（LLP）」の組合員に参加し、同 LLP では京都市と、京都駅東南部エリアにおける市有地の活用に関する基本協定書を締結しました。今後、チームラボの作品を常設展示するアートミュージアム等の、地域と世界を繋ぐ複合文化施設を開業する予定です。



※画像はイメージです

本事業は、京都駅東南部エリアにおける市有地に、「新たな価値を生み出す創造・発信拠点」となる施設の設置・運営を行うものです。アート集団チームラボのアートミュージアム、学生や地域住民の方々が利用できる市民ギャラリー、カフェ、アートスペースなどの複合施設の整備を計画しており、京都市が京都駅東南部エリアにおいて目指す、文化芸術や若者を基軸としたまちづくりの推進に貢献します。

本プロジェクトは、チームラボを代表として、京都・大阪に根差した複数のパートナー企業で構成する LLP によって遂行します。組合員には読売テレビのほか、同じく関西圏のテレビ局である朝日放送テレビ、京都の主要メディア企業である京都新聞ホールディングス、京都放送、エフエム京都、および「ひらかたパーク」を運営する京阪電気鉄道の持株会社である京阪ホールディングスが参加します。さらに、市民ギャラリー等、地域の活動拠点の運営には、京都市内でまちづくりや地域コミュニティづくり、産業育成等の取り組み実績があるパートナー企業として、京都信用金庫、京都中央信用金庫、NTT 都市開発にもサポートいただきます。

〔計画概要〕

■アートミュージアム

新作をはじめとした、チームラボのアート作品を複数展示予定です。世界中のクリエイティブクラスをはじめとした多くの人々のデスティネーションとなることを目指します。そして、エリアへの回遊性をデザインし、エリア全体の活性化を目指しています。さらに、アートミュージアムは、来館者に観賞していただくだけでなく、京都市立芸術大学をはじめとした京都の学生が、作品創造の実験の場として使用できるプラットフォームになることを検討しています。チームラボのミュージアムには、数百台のプロジェクターやセンサー、ムービングライト、基盤になるコンピューターなど、様々なデジタル機器が世界にも全く類を見ない規模で設置され、互い機器がネットワーク化されています。そして、それらを連動させて動かすためのミドルウェアも独自に開発しています。デジタルテクノロジーなどを利用した新しいアートや創造的活動において、設備や機材がなければ、作品の実験もできない上に、想像もしにくいという現実的な問題があります。学生には、これらの設備や機材に触れる機会を創出し、デジタルテクノロジーなどを利用したアート、もしくは創造的活動における、設備のある、実践的な教育機会の場となることを目指しています。



※画像はイメージです

■アートセンター

アートセンターの計画には、国際的なアート事業 Superblue が参画。新たな体験型アートセンターSuperblue Kyoto をプラットフォームに、世界的なアーティストによる大規模な没入型の作品展示や、京都の学生や地域住民の方々とのワークショップの開催を検討しています。



■市民ギャラリー

京都市立芸術大学の学生をはじめ、京都の芸大生の発表と交流の場となる市民ギャラリーを整備予定です。なお、市民ギャラリーは、多目的スペースとして、自治連合会をはじめとした様々な団体や地域住民の方々の活動の場としてもご利用いただけます。



※画像はイメージです

■カフェ

巨大なアートの中のカフェも併設予定です。カフェは地域の方々も自由にご利用いただけます。



※画像はイメージです

【プレスキット】

<https://www.dropbox.com/sh/acawka1qb1w7i6z/AAAmAC5fvP9yAkzFPaOR2GAMa?dl=0>

【取材のお問合せ】

<https://www.teamlab.art/jp/contact/>

チームラボ / teamLab

アートコレクティブ。2001年から活動を開始。集団的創造によって、アート、サイエンス、テクノロジー、そして自然界の交差点を模索している国際的な学際的集団。アーティスト、プログラマー、エンジニア、CGアニメーター、数学者、建築家など、様々な分野のスペシャリストから構成されている。

チームラボは、アートによって、自分と世界との関係と新たな認識を模索したいと思っている。人は、認識するために世界を切り分けて、境界のある独立したものとして捉えてしまう。その認識の境界、そして、自分と世界との間にある境界、時間の連続性に対する認知の境界などを超えることを模索している。全ては、長い長い時の、境界のない連続性の上に危うく奇跡的に存在する。

ニューヨーク、ロンドン、パリ、シンガポール、シリコンバレー、北京、台北、メルボルンなど世界各地で常設展およびアート展を開催。東京・お台場に《地図のないミュージアム》「チームラボボーダレス」を開館。2022年末まで東京・豊洲に《水に入るミュージアム》「チームラボ プラネッツ」開催中。2019年上海・黄浦濱江に新ミュージアム「teamLab Borderless Shanghai」を開館。2020年6月にマカオに常設展「teamLab SuperNature Macao」ソフトオープン。2021年7月16日から九州・武雄温泉・御船山楽園にて「チームラボ かみさまがすまう森」開催。

チームラボの作品は、ロサンゼルス現代美術館（ロサンゼルス）、ニュー・サウス・ウェールズ州立美術館（シドニー）、南オーストラリア州立美術館（アデレード）、サンフランシスコ・アジア美術館（サンフランシスコ）、アジア・ソサエティ（ニューヨーク）、ボルサン・コンテンポラリー・アート・コレクション（イスタンブール）、ビクトリア国立美術館（メルボルン）、アモス・レックス（ヘルシンキ）に収蔵されている。

teamLab is represented by Pace Gallery, Martin Browne Contemporary and Ikkan Art International.

チームラボ: <https://www.teamlab.art/jp/>

Facebook: <https://www.facebook.com/teamLab.inc>

Twitter: https://twitter.com/teamLab_news

YouTube: <https://www.youtube.com/c/teamLabART>

以 上